

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム
 コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 仁田 英策

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

TEL 06-6882-0851

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	22,488	16.5	2,042	34.0	2,004	34.4	1,125	35.7
25年12月期第3四半期	19,310	14.1	1,524	12.3	1,491	17.6	829	39.3

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,150百万円 (35.1%) 25年12月期第3四半期 851百万円 (46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	115.39	102.66
25年12月期第3四半期	87.29	76.23

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	17,470	5,811	33.1	592.47
25年12月期	15,820	4,876	30.6	498.42

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 5,789百万円 25年12月期 4,853百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。なお、平成26年12月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	14.4	2,850	33.8	2,800	34.5	1,400	32.5	143.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、平成26年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	9,771,600 株	25年12月期	9,737,800 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	— 株	25年12月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	9,749,922 株	25年12月期3Q	9,499,200 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府、日銀による金融緩和と政策推進を背景に、企業収益や雇用環境の改善傾向が見られるなど、個人消費をはじめとする内需が堅調に推移いたしました。

外食産業におきましては、中国産期限切れ食材混入事件の影響による輸入食材に対する不信感の拡大や、円安の影響による原材料価格の高騰、パート・アルバイトの人員不足など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、当第3四半期連結累計期間におきましても既存店事業の全体的な底上げ、並びに販促活動の強化に注力いたしました。「まいどおおきに食堂」を中心として「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「つるまる」をはじめとする全ブランドの業績改善に全社一丸となって取り組むと同時に、不採算店舗の撤退を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高224億88百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益20億42百万円（前年同期比34.0%増）、経常利益20億4百万円（前年同期比34.4%増）と増収増益となりました。一方、減損損失等の特別損失1億1百万円を計上したため、四半期純利益は11億25百万円（前年同期比35.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<直営事業>

直営事業につきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「浪花麺乃荘 つるまる」等の事業展開を行っております。

当事業におきましては、「まいどおおきに食堂」を中心に全ブランドの既存店業績の維持・向上のための営業努力の結果、既存店売上前年比を39か月連続で100%超で達成することができ、上場している外食企業として国内最長記録を更新することができました。

また、「まいどおおきに食堂」については既存店売上前年比を44ヶ月連続で100%超で達成しており、現在も連続記録の更新を継続しております。

以上の結果、当連結会計年度中の新規出店は13店舗、直営事業全体の売上高は213億6百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は26億62百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例・問題点の共有を進めることにより更なる集客力の向上を図っております。

今後も加盟企業との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、継続的な収益力の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は11億82百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益は7億83百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

当社グループの平成26年9月末時点の店舗数は705店舗（直営店（国内）365店舗、直営店（海外）8店舗、F C店（国内）331店舗、F C店（海外）1店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	F C店 (国内)	F C店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	134	5	299	—	438
神楽食堂 串家物語	68	—	13	—	81
手作り居酒屋 かつぼうぎ	40	—	14	—	54
浪花麺乃庄 つるまる	48	2	4	1	55
その他	75	1	1	—	77
合計	365	8	331	1	705

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は16億49百万円増加し、174億70百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から89百万円増加し、固定資産は15億70百万円増加しております。流動資産が増加した主な理由は、借入の実行に伴う現金及び預金の増加によるものであります。固定資産が増加した主な理由は新規出店に伴う有形固定資産の増加13億20百万円、敷金及び保証金の増加2億65百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して7億14百万円増加し、116億58百万円となりました。これは主に借入実行による借入金の増加額15億22百万円によるものであります。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び配当金の支払い等により、58億11百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の業績予測につきましては、平成26年6月23日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,825,378	3,119,793
売掛金	266,880	233,886
たな卸資産	130,481	149,514
繰延税金資産	105,775	105,775
預け金	826,523	638,505
為替予約	10,290	5,520
その他	367,168	368,965
貸倒引当金	△2,121	△1,690
流動資産合計	4,530,377	4,620,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,493,265	9,543,900
減価償却累計額	△3,587,168	△3,930,384
減損損失累計額	△321,509	△262,274
建物及び構築物(純額)	4,584,587	5,351,241
工具、器具及び備品	3,167,317	3,697,925
減価償却累計額	△2,208,256	△2,493,758
減損損失累計額	△41,377	△28,006
工具、器具及び備品(純額)	917,683	1,176,160
土地	359,490	359,490
建設仮勘定	717,356	1,045,072
その他	267,200	260,363
減価償却累計額	△174,288	△199,341
その他(純額)	92,912	61,022
有形固定資産合計	6,672,029	7,992,986
無形固定資産	76,969	63,058
投資その他の資産		
投資有価証券	214,907	242,679
繰延税金資産	338,218	328,331
敷金及び保証金	3,412,683	3,678,102
その他	628,783	584,041
貸倒引当金	△82,055	△57,297
投資その他の資産合計	4,512,537	4,775,857
固定資産合計	11,261,536	12,831,901
繰延資産	28,434	17,834
資産合計	15,820,348	17,470,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,083,457	1,117,126
1年内返済予定の長期借入金	1,179,711	1,558,677
未払金	1,011,681	1,106,659
未払法人税等	663,946	376,125
賞与引当金	73,298	30,979
繰延税金負債	3,907	2,096
資産除去債務	19,566	27,808
訴訟損失引当金	10,000	-
その他	1,401,141	1,286,874
流動負債合計	5,446,709	5,506,347
固定負債		
社債	1,759,999	1,289,999
長期借入金	2,593,297	3,736,350
リース債務	68,142	43,282
繰延税金負債	7,902	9,011
資産除去債務	671,667	739,575
その他	396,368	333,548
固定負債合計	5,497,378	6,151,768
負債合計	10,944,088	11,658,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,457,895	1,472,858
資本剰余金	1,337,641	1,352,604
利益剰余金	2,071,589	2,953,153
自己株式	-	△91
株主資本合計	4,867,126	5,778,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,471	△17,586
繰延ヘッジ損益	6,382	3,424
為替換算調整勘定	15,509	24,999
その他の包括利益累計額合計	△13,578	10,837
新株予約権	13,750	12,477
少数株主持分	8,962	10,051
純資産合計	4,876,260	5,811,891
負債純資産合計	15,820,348	17,470,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	19,310,436	22,488,464
売上原価	6,408,338	7,480,380
売上総利益	12,902,098	15,008,084
販売費及び一般管理費	11,377,172	12,965,099
営業利益	1,524,926	2,042,985
営業外収益		
受取利息	3,592	3,173
受取家賃	88,182	65,724
持分法による投資利益	16,534	2,075
その他	27,221	50,337
営業外収益合計	135,531	121,310
営業外費用		
支払利息	41,629	44,100
社債利息	18,829	11,403
賃貸収入原価	89,120	70,284
その他	19,793	34,456
営業外費用合計	169,371	160,244
経常利益	1,491,086	2,004,050
特別利益		
受取立退料	—	2,875
受取保険金	—	1,492
負ののれん発生益	7,538	—
その他	2,824	323
特別利益合計	10,363	4,690
特別損失		
店舗解約損	17,568	11,272
固定資産除却損	15,452	36,462
減損損失	30,687	53,825
その他	402	—
特別損失合計	64,111	101,560
税金等調整前四半期純利益	1,437,338	1,907,181
法人税等	606,877	781,722
少数株主損益調整前四半期純利益	830,461	1,125,459
少数株主利益	1,248	450
四半期純利益	829,213	1,125,009

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	830,461	1,125,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,529	17,885
為替換算調整勘定	15,745	10,311
繰延ヘッジ損益	—	△2,958
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,115	△181
その他の包括利益合計	21,160	25,055
四半期包括利益	851,621	1,150,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	850,656	1,149,425
少数株主に係る四半期包括利益	965	1,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,154,528	1,155,908	19,310,436	—	19,310,436
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	18,154,528	1,155,908	19,310,436	—	19,310,436
セグメント利益	2,107,053	752,937	2,859,990	△1,335,064	1,524,926

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,335,064千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては30,687千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,306,018	1,182,446	22,488,464	—	22,488,464
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	21,306,018	1,182,446	22,488,464	—	22,488,464
セグメント利益	2,662,388	783,065	3,445,454	△1,402,469	2,042,985

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,402,469千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては53,825千円であります。